

# unlimited ~無限大~

1年B組 学級通信 NO.46

## 命の大切さを学ぶ教室

7月11日(金)の6限に体育館で命の大切さを学ぶ教室がありました。講師は<少年犯罪被害当事者の会>代表の武るり子さんでした。武るりさんは、平成8年3月に当時16歳だった長男を見知らぬ他校の生徒たちから理不尽な因縁をつけられ、殴る蹴るなどの集団暴行を受け殺害されました。この経験から、少年法の矛盾・不条理さを強く感じ、「悪いことは悪いと言える世の中になってほしい。」との思いで「少年犯罪被害当事者の会」を結成しました。現在、中・高等学校などにおいて、直接生徒たちに自分も他人も大切に、これ以上子どもたちを被害者にも加害者にもしてはいけないと語りかける「命の大切さを学ぶ教室」の講師として全国で講演を行うなど、様々な犯罪被害者支援活動を行っています。また、年に一度、尊い命を“命”として扱ってもらえなかった子どもたちのことを語り合う集い「WILL」を開催しています。



今日は最初は自分も大切なことは知っていたつもりでした。6時間目なのでとてもおもしろいのですが息子さんの話を聞いて私は悲しみで心の中がモヤモヤしていました。周りにはねている子もいたし、ずと下を向いている人もいました。私はなんでこんな大切なことを聞かないんだろうと思いました。あと、りり子さんのような経験をして、悲しい気持ちであられている人のために、クワール-70をつくることはとてもすごいことだと思いました。同じ人たちと考える  
(1)年(B)組(34)番 名前( )

のと1人でなやむのはだいたい「ちかう」ので、それを考えたりり子さんはすごいと思いました。そして、りり子さんの心でかきこびました。友達がいなくなったのにりり子さんはあんなにも優しく優しいでいたのでもすごいです。私は今、よく親にはむかうけど今日の話を聞いて、親も考えてくれるんだから「カー」となって親の気持ちもちゃんと考えて行動したいです。

保護者の方に反抗してしまうけど、話を聞いて普段の態度を見直す良い機会になりましたね。なぜ怒ってくれるのか、相手の気持ちを考えて行動するようにしていきましょう!

暴力はいじめにつながります。暴力を受けている人がいたら、救いの手を差し伸べられる人でいてください。

武るり子さんの話を聞いて、教室に戻ってから感想を書いてもらいました。とても良い感想が多く、これからの行動を見つめ直す良い機会になったと思います。みなさんも参考にしてみてください。

僕はこの講演を聞いて命はとてもの大切なものだなと思いました。そのためいじめや暴力をしないように心がけたいです。一度だけの人生楽しく生きたいです。  
(1)年(B)組(15)番 ( )

人生楽しんで生きていきたいですね!

僕は命の大切さを学ぶ教室で命はとてもの大切だと改めて感じました。少年犯罪被害者(ほうじん)は知らない人の命は別にどうでもいいと思ってるのかもしれないけど僕はそれでは絶対に行かないと思いました。なぜなら自分にとっては関係なくてもその人の命は大切だと思ってるからです。僕は命の大切さを学ぶ教室で少年犯罪被害者(ほうじん)は知らない人の命はとてもの大切だと改めて感じました。そして僕は命を大切にしようと思ったり、自分を守るために、いじめや暴力をうけないようにするよう人になりたいと思いました。

(1)年(B)組(30)番 名前 ( )